**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/07/09 |
| 期間 | 2021/07/05 ~ 2021/07/09 |

**研究テーマ：**

●既存のタスク管理アプリはビジネス向け・個人向けのみで学生に特化したものは存在しない。

●コロナウイルス蔓延による遠隔授業・オンライン就活が重なった私たちの世代は、学校からの連絡（課題）・企業からの連絡がメールに集中し、潜在タスク・優先順位の管理が大変で不便に感じる場面が多々あった。

以上2点から学校(講師)とのやり取りに特化した学生向けのタスクの管理（主に可視化）をテーマとし卒業研究とする。

〇概要

既存アプリを対象とし方式ごと（カレンダー方式・ToDoリスト方式）にタスクの可視化（表示方法のみでなく入力方法・独自機能・入力項目・カラーバリエーション等）方法を調べ調査レポートにまとめる。(データ1)(データ2)

若者向けに当てられた研究内容(色・フォント・感じ方・アプリの使用(場所・頻度)など)を調べ、根拠を集める。根拠をもとに仮説を立てる。(データ3)

データ3をもとに、実際にアプリを作成し、データ1とデータ2との比較と評価を行い、研究成果とする。（現状、学生観点のタスク管理方法についてのデータが存在しないため研究として成り立つという考え方）

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

**１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）**

今週

設計書作成

作業サポート

来週

設計書作成

作業サポート

現在の工程

設計書作成中

**２．現状の問題点**

7月末までの段取りを構想では組めたので、要領よく進んでいかないといけない。

**３．問題点に対する対策**

各段階の目標を定め、その点まで行けば次の作業に進むなど、明確なものにする。

**４．メンバーの作業内容**

清さん

・ToDoリストのまとめ

長井さん

・先週から引き続き仮説検討用の調査・資料作成（学生世代に有効な可視条件について）

渡部くん

・若年者に対する色の研究論文集め

澤野くん

・若者の向けの文字の大きさ・フォンの調査レポート作成

**５．メンバーの進捗**

メンバーにタスクをうまく振ることができれば作業スピードに問題はなく、とても速いので、7月末までに完成させておかないといけない設計書をベースでタスクを振っていこうと思います。

**６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）**

メンバーの現在の工程

予定通りメンバーには若者という観点書かれた論文などの根拠を集めて行ってもらっています。

年間

調査　→　研究　→　アプリ作成　→　評価　→　結論

**７．全体の進捗**

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ50％ほどだと感じます。

スケジュール通りにいけば完成まで持っていけると思います。

今調査してもらっている内容と前回まで調べて作成してもらった資料をもとにレイアウト作成に早いうちに入れるとスムーズにいくかなと思います。

**８．来週の予定（メンバー・チーム）**

メンバー

若者に関する内容の資料や論文を調査する。

集めた資料を基にレイアウト作成していく。

チーム

調査で集めた内容をレイアウトにどう反映させるかを話し合う。

**９．現状の問題点（メンバー・チーム）**

メンバー

メンバーの問題点はありません。

チーム全体

スケジュールがかなり大雑把なこと。調査を何日までに終えるなど、期間を決めずにやっていることに不安を感じる。

**１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）**

メンバー

問題なさそうです。

チーム

オンラインのチーム作業に慣れては来ていたが、スケジュール管理面などでやはりチームメンバーに不安を与えてしまっているので、期限や目標などをしっかり定めて進めるようにする。